

2024 年度職業講話 生徒感想文（附属中学校Ⅱ年生）

講師 齊藤 拓さん（高校 32 期） 2025 年 1 月 11 日開催

講演タイトル 「理系大学教員（高分子材料分野）の仕事と研究」 ⑥

☆国から支給される運営費が毎年 1%減っていることにおどろきました。今回の講話で探求は将来とても役に立つ、大学は偏差値ではなく研究室などの環境が自分にとってよいところを選ぶといいことを学びました。私は探求をしていく上で、インプット、アウトプットをして自分の力をつけていきたいです。また、今後大学選びに迷ったときには偏差値だけで決めないようにしたいです。准教授と教授という仕事は初めて知りました。高分子と特徴が私が初めて知ったことばかりだったので、とてもおもしろかったです。興味深い講話をしていただきありがとうございました。

☆大学の教授の方々は、授業以外にも委員会や学界に入らないといけなくて、もともと大変な仕事であると思っていたけれども、想像以上に大変であるということが分かりました。大学を選ぶだけでも、とても将来の選択肢が大学によってしぼられるのだということを知りました、高分子についてのお話で、バランス効果などが、少し難しくてあまりよくわからなかったけれど、とても面白そうだと感じました。

☆すばらしい発表をしてくださりありがとうございました。大学の教授になれたのは運とタイミングとおっしゃっていましたが、やはり日頃から勉強を頑張っていたからこそのものだと感じました。また、大学の生活で不器用だからこそ、アルバイトをせず、勉強に集中できたとおっしゃっていて、自分の生活も色々なことに手を出すのではなく集中したいことにフォーカスしていく必要があると感じました。私は、あまり勉強が得意ではありませんが、大学は狭く深くより専門的な分野を行うと思うので、勉強の中に何かしらおもしろさを見出して、勉強を好きになれたらいいなと思いました。プラスチックが丈夫な理由は糸がからまっているようなものだと思って、面白いなと感じました。

☆大学の教授は大変なんだなと思いました。例えば、助教、准教授は限られた期間内に研究成果を出す必要がある事。働いた時間の「長さ」ではなく「成果」で報酬が支払われること、また、勤務時間外にも勉強をしなければならないことなどです。研究分野が予想していた以上にたくさん枝分かれしていて驚きました。材料創生、物性評価、構造評価をすべて一人で行うと聞き、大変そうではあるけれど、確かに大きな力を身に付けることができそうだなと感じました。私は今理系の大学に進みたいと思っているわけではないですが、新たな知識を得ることができ、将来に活かしたいです。本日は貴重なご講演をありがとうございました。

☆本日は貴重なご講演をありがとうございました。私はまだ大学などについてくわしく考えたことがないけれども、大学は大変だが大変な分だけワクワクがあると学ぶことができました。大学については具体的なイメージを持つことができました。今日は本当にありがとうございました。

☆今回のご講演で、私は意思決定の大切さを学びました。サラリーマンは働いた時間の長さで給料が支払われるのが主だと思いますが、大学教員は成果によって決めるということに衝撃を受けました。私がかたとえなりたいたいと思う職業でも、給料が安定しないと生活も安

定しないので、仕事は慎重に選ぶ必要があると感じました。しかし自分のなりたい像に近づけることができるのが人生において充実したことだと思えるので、日頃からの努力をおこたらずに励んでいこうと思います。また志望する大学の重要性も感じました。同じ教科書でも授業内容が異なる、とありましたが、自分の求めるスタイルを叶える大学を選択しようと感じました。大学では研究を多くすると思いますが、それは今の探求の学習が大事になってくると考えます。大学の準備だと思い論理的思考を高めたいです。自分の将来設計の見通しに役立ちました。本日はありがとうございました。

☆本日は、素敵な講演をありがとうございました。大学教員になるまでの過程を知ることができてよかったです。大学を選ぶ際に偏差値が大切になると思っていたのですが、研究室が大切だということを学ぶことができました。また、大学生になった際には“事柄の関連性”“論理的に説明する力”“図を用いて説明する力”が大切だということが分かったので、中高生のうちからそのような力を身につけられるようにしたいです。高分子の説明も、初めて高分子という言葉を知りましたが、とても分かりやすかったです。ポリエチレン、ナイロン、PETなどが高分子というものに分類されることを初めて知りました。今回の講演を踏まえて、将来の職業や大学を決める際に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

☆本日は興味深いご講演をありがとうございました。理系大学教員の具体的な仕事内容を知ることができました。また、受験の話や、大学の話など、すごく自分事として捉えることができました。私は理系の方が得意だけれど、今日のお話を聞いて、文系の可能性を考えることや、理系に進むならしっかりと覚悟と責任をもちたいとおもいました。研究分野もとても細かく細分化されることが分かったので、今うち内から様々なことに興味を持ち、積極的に関わっていきたいです。また、勉強のみでなく、音楽、本、絵画などの芸術にも触れていき、自分なりの感性を身につけたり、知的好奇心をもったりできるようにしていきたいと思いました。

☆本日は興味深いご講演をありがとうございました。大学教授という職業について、私はほとんど知らず、小・中学校の教師に近いものだと思っていたので、就職の仕方や業務の内容が大きく異なると知っておどろきました。また、自分が進学する大学の決め方についても、きれいであること、偏差値が高いこと、施設が充実していることよりも自分のやりたい研究分野があり、その研究をできる環境が整っているかどうかを重視して決めることが大切であると知ることができました。私もこの中学・高校の探求で自分が興味があることが何かを知り、それに合った大学を選びたいと思います。

☆本日は興味深いご講演ありがとうございました。「大学教員」という職業について仕事内容や仕組み、必要な資格などについて様々な実態を知ることができて、大変勉強になりました。大学というものについて理解していなかったのですが、解像度が上がりました。今、中学でしている探求が、大学での研究にも役立つと知り、いまのうちから課題発掘能力や自分の意見を持つなどの力を身につけたいと思いました。研究はどんなテーマにも必ず面白さがあり、ポジティブに考えることが大切だと聞き、私は勉強や探求を面倒に思うってしまうことがあるけれど、楽しんでやりたいと思いました。

☆本日は大変興味深いご講演をありがとうございました。大学教員の仕事などの話は中々

聞ける機会がないので、とても有意義な時間になりました。始めに大学は偏差値ではないと言っていたのがとても印象に残りました。やはり自分がやりたいと思うことをやるのがとても大切なんだと改めて思いました。また、教員であっても大学では、研究して論文を書かないといけないのだと知って、とても大変だなと思いました。また、今やっている探求も大学でやる研究の一環でもあって、役に立つのだなと知りました。今回の講演を今後の職業決めに活かしていきたいと思えます。